

社会教育だより

SEIRO Syakai Kyouiku dayori

～3ヶ月ぶりの 紙しばい会～



震災避難所の関係で3ヶ月ぶりの開催となった紙しばい会。

集まった子どもたちは、久しぶりの紙しばい会に少し興奮ぎみに声を出したり、笑ったり、紙しばいの世界を楽しんでいました。

この紙しばい会は毎月計画されています。震災で避難されている子どもたちも含めて多くの子どもたちが遊びに来てくれるといいですね。

6月

町民会館休館日	6日、13日、20日、27日
トレーニングルーム休館日	6日、13日、20日、27日
図書館休館日	6日、13日、20日、27日、30日



せいろうりよくち たから
聖籠緑地で宝さがしをしました

ゲームソフトや、おもちゃの宝を想像した子ども達であったが……

5月14日、トレジャールキッズハンターが集結した

三つのポイント、石の王国、迷宮の森、池の魔人の国を巡りながらクイズに答えると、宝物の隠し場所のヒントがもらえる遊びを三小学校から31人の参加があり、6チームに分かれて楽しみました。

本当の宝物とは

草ムラや石の下、水辺に浮かんだペットボトルの中の紙に書かれたメッセージを頼りに探してあてた紙は6つに裂かれていました。それぞれチームのちぎれた紙をつなぎ合わせたその紙に書いてあった宝のありかとは「出発地点にもどり、森の番人の持っている箱の中をのぞけ」であった。



なんでここにジャックがいるんだ？!

ポイント地点に隠されているヒントの紙を見つけたが……

宝を見つけるのは知力と体力とチームワークがいます

迷宮の森の女神のクイズに答えてヒントをもらいました



「宝物は箱の中にあるぞ!」と、突然現れたジャックに教えてもらった子ども達が森の番人の持つ箱の中を覗き、目が点になってしまったのである。「いつか分かる日がくるさ」とジャックは言うのであった。

鏡にうつすと意味がわかるよ

宝物とは **鏡の谷自ずくを引籠** でした

なんと、宝物はスタート地点の箱の中に

仙人の池に浮いていたペットボトルの中にヒントが書かれた紙が……

6チームの見つけた地図がひとつのパズルになっていた



週末体験クラブの6月の予定です

各事業 09:30~11:30 ※登録は随時受付しております

早く電話して申し込んでおこう



6/4 (土)
秘密基地を作ろう
 ■聖籠中学の森にて参加無料です

6/11 (土)
イモがあれば年の差なんて
 ■聖山大学の畑参加無料です

6/18 (土)
オリジナルCDを歌って作ろう
 ■町民会館小ホール参加無料です

6/25 (土)
勾玉を作ろう
 ■町民会館小ホール定員先着40人参加費 230円

お申し込み・お問い合わせ先 聖籠町町民会館 ☎ 27-2121
 週末体験クラブ担当 / 松井・高松



放送委員の 成長に驚き

交流棟の窓より

「こんにちは」元気のいい声と共に、地域交流棟に毎日お昼の給食の時間になると、放送委員の生徒3名が給食を手に入ってきます。町民ホームベース隣り管理室で『今日の給食は……』、『〇〇先生からの連絡です』など、給食を途中でし、代わる代わる放送します。

4月初めての放送、「す〜く緊張する」「ドキドキする」声も小さくおどおど……どんぐりしたいの私達は心の中で「大きい声でがんばれ！」と応援。そして、2ヶ月たった今、自信に充ちた顔で堂々と放送する姿に生徒たちの日々成長している力を感じています。本当に凄い力ですね。

散歩楽しんでみては

ふるさとの森

学校裏のふるさとの森も6月になり木々の緑も色を増し、森の小道も小枝のアーチに囲まれ、涼しげな木陰を作っています。これから夏にかけて、いろいろな花達が咲きます。天気の良い日、ぶらつと散歩を楽しんでみてはいかがですか。おまちしています。



地域の方々と ジャガイモ植えたよ

8月28日(日) 生徒会主催の豚汁パーティーが行われます。5月2日の昼休みに地域の方々の指導のもと、ジャガイモ植えが行われました。種イモを切り、切り口に灰をつけて、初めての生徒たちも多く、地域の方々も指導に大慌てで、けれど楽しみながら和気あいあいと植えることが出来ました。たくさん収穫できるといいですね。



聖山大学

5/2(月)
修了式

第38期生

5月の門出を祝します

先月号でお知らせのとおり、町民会館は東日本大震災の避難所になっておりました。異例なことでしたが、そのために38期生の修了式が遅れてしまいましたこと、お詫び申し上げます。
時期こそ遅れましたが、この場で見られたのは例年どおりの、感慨ひとしおの皆さんの表情でした。



伊藤学長より学生ひとりひとりに修了証書が授与されました。

第2部としてキャンドルファイヤーを行い、修学旅行で訪れた、今は震災に見舞われた東北地方を偲びました。
さまざまな思いが脳裏をよぎる中、今後もお互いに元気で再会を重ねることを誓い合い、握手を交わして会場を後にしました。



ともに励まし合ったのも仲間、笑い合ったのも仲間、絆はこれからも続きます。

中学校鑑賞事業

6/17
(金)

「肝っ玉おっ母とその子供たち ～あとから生まれてくる人たちに」



会 場 聖籠町文化会館（聖籠町町民会館内）

開 演 午後2時～（開場：1時30分）

チケット発売

6月3日（金）から聖籠町町民会館で発売

小学生以下 500円 大人 1,000円

※ 一般の方も先着80名様に限り鑑賞いただけます。
（2階席になります。）

お問い合わせ

聖籠町町民会館 ☎0254-27-2121

（毎週月曜日は休館日です。）



小学校鑑賞事業

7/7
(木)

音楽のおくりもの ～スペシャル～



音楽の
おくりもの

会 場 聖籠町文化会館（聖籠町町民会館内）

開 演 「1～3年生の部」 午前10時（開場：9時30分）

「4～6年生の部」 午後2時（開場：1時30分）

チケット発売

6月3日（金）から聖籠町町民会館で発売

小学生以下 500円 大人 1,000円

※ 一般の方も各公演先着100名様に限り鑑賞いただけます。

お問い合わせ

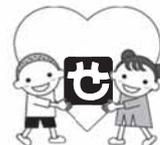
聖籠町町民会館 ☎0254-27-2121

（毎週月曜日は休館日です。）





学校支援地域本部事業



ひろがる ふれあい みつける よろこび

平成23年度『3小学校PTA総会』地域本部の取り組み説明

4月22日(金)町内各小学校でPTA総会が開催されました。支援本部コーディネーターがそれぞれ分担して支援本部事業内容について説明をおこないました。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様方の一層のご理解ご協力をお願いいたします。

蓮野小学校

(校長先生、教頭先生が新しく赴任されました)



校長先生の本気度が伝わってきました。

亀代小学校

(学級閉鎖と重なり少人数の参加でした)



総会前に時間をとっていただき、本部のPRをしました。

山倉小学校

(1年生保護者の参加が多くみられました)

校長先生が新しく着任されました。



- ★本部活動報告
- ★「子どもサポーター」募集と登録のお願いについて説明

地域の皆様の声を大切に事業運営に取り組んで参りますので、是非お気軽にご意見をお寄せください。

問い合わせ：聖籠町学校地域支援本部

(聖籠中学校地域交流棟 町民ホームベース)

(結いハート聖籠)

☎27-7085

☎32-5818

地域コーディネーター：新保利文・阿部誠衛・渡邊彩・大倉幸子

「わたしの主張2011
のご案内」

おいで下さい!



◆聖籠中学校校内意見発表会◆

日時 平成二十三年六月二十三日(木)
午後二時から

会場 聖籠中学校体育館

町の中学生が、学校や家庭あるいは、大人や友人とのかかわりの中で、日ごろ考えていることを自分の言葉で文字にしたため、人前で発表する機会です。

中学生自らに社会の一員としての自覚と責任を持つてもらい、町民の青少年健全育成に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

町の中学生の思いにふれる絶好の機会ですので、大勢の方のご来場をお待ちしております。

お知らせ

聖籠町で開催 ～みなさんの参加をお待ちしております～

平成23年度 社会同和教育市町村巡回研修会

1 趣 旨

すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現を目指し、差別意識の払しょくを図り、広く人々の人権・同和問題に対する正しい理解と認識を深め、問題の解決に資することができるよう啓発を図ります。

2 主 催

新潟県教育委員会

3 共 催

聖籠町教育委員会

4 後 援

新発田市教育委員会 阿賀野市教育委員会 胎内市教育委員会

5 主 管

下越教育事務所

6 期 日

平成23年7月8日(金)

7 会 場

聖籠町文化会館
聖籠町大字諏訪山1280 ☎ 0254-27-2121

8 日 程

- 受付 9:30～10:00
- 開会式 10:00～10:15
- 講演 10:15～11:45

演 題 『私と部落問題』～「関係ないよ」じゃないよ～

講 師 部落解放同盟新潟県連合会執行委員 高橋 加代子 様

- 県所管事項の説明 12:45～13:15
- ビデオ視聴 13:15～13:45
- 分散会 14:00～16:00

協議題 「社会同和教育の課題と今後のあり方について」

身近に存在する差別や偏見について出し合い、それらを解決するための方法を考えます。

9 参加費

無 料

10 参加申込み

参加を希望される方は、6月16日(木)までに下記に申込みください。なお、昼食(700円お茶付き)を希望される方は、申込み時にその旨をお伝えください。

聖籠町教育委員会社会教育課

〒957-0117 聖籠町大字諏訪山1280 ☎ 0254-27-2121 FAX 0254-27-7976

6/12 (日)

第22回 NST さくらんぼの里 民謡の祭典



【開演】 午後2時30分（開場：午後2時）

【入場整理券】 全席指定 町民会館にて好評配布中

【主催】 聖籠町文化会館／NST

【出演予定】 司会：江戸家猫八

唄：さいとう武若／千田けい子／山中明美／原田直之

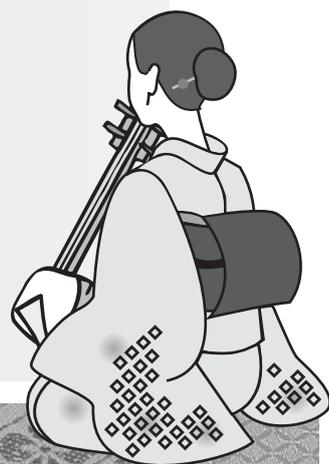
笛・尺八：米谷和修 尺八：米谷幸太

三味線：小山貢竜／藤本松和／藤本松富久

鳴物：伊藤富美子

唄ばやし：新津幸子／新津美恵子

踊り：西崎 緑、西崎緑舞踊団



笹団子作り体験

聖籠緑地で摘んだヨモギを使って、笹団子作りに挑戦してみませんか？
地元の方と一緒に話をしながら、楽しい時間を過ごしましょう！
出来た笹団子は、お土産として5個程度、お持ち帰り出来ます！

- 日時 6月22日（水）
午前10時～12時程度
- 会場 聖籠町網代浜会館
- 定員 先着20名程度
- 参加料 100円

※申込み・問い合わせは、公園管理事務所
☎025-255-3202

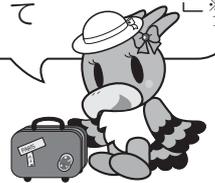
主催 公園管理者グリーン産業(株)
協力 網代浜集落



続 聖籠昔ばなし



今回のお話は、アニメ「母をたずねて三千里」^{※1}のご当地版でも申しましょうか。少年が旅に出るお話です。昔話としては類例がなく、由来のはっきりしないお話です。ほかに似た昔話をご存知の方がいらつしやいましたら、ぜひ教えて下さいね。



むかしむかし、あるところに、父と母とじいちゃんといちちゃんのシヨウ坊の四人が暮らしていました。

父は体が弱くて、毎日医者に通わねばならず、暮らして困ってしまいました。シヨウ坊が二つの頃、とうとう父は死んでしまいました。暮らしの足しにと、母が働きに行きました。

「働いたお金はすぐ送ります」と言ってお金を出しましたが、一か月たっても母から返事がありません。シヨウ坊とじいちゃんは、毎日指折り数えて、母が帰って来るのを待っていました。

三か月たっても返事がありません。お金に困るので、じいちゃんが村の人から藁を借り、それで草鞋を作りはじめました。

シヨウ坊はじいちゃんのために藁を打ってやります。じいちゃんが藁を編んで、草鞋にしました。そうしてできた

草鞋を町に売りに行き、売ったお金で、米を買ったり、味噌を買ったりして暮らしました。



気がつけば、じいちゃんは八十歳、シヨウ坊は五歳になっていました。よその子どもは休みになれば、父と母に手をつながれて、楽しく遊んでいます。幼いシヨウ坊には、とても寂しくつらい日々でした。

ある日ついに、シヨウ坊はじいちゃんに頼みました。

「父と別れて五年間、母と別れて二年間、私ほど因果なものはない。父に会いたくても、父はこの世にはいないので会うこともできません。せめて母に一目でも会いたいです。」

シヨウ坊は、母を捜しに出ることになりました。じ

いちゃんが、雨が降って困るといけないからと、合羽を肩に掛けてくれました。

首には袋を提げてくれました。そして、「この村を越えてよその村

に入ったら、人様に『一厘なりともお願いします』と言いなさい。貰ったら、頭を下げて『ありがとうございます』と言うんだよ。」と教えました。

家を出て二週間たちましたがなかなか母には会えませんが、あんまり悲しくて、うらの細道の山の陰に立っていました。そこへ、五十ばかりのおばあさんが通りかかりました。

どこへ行くつもりか この山登ればどこか

おばあさんは、「何が悲しいのかその訳を聞かせておくれ」と、シヨウ坊に聞きました。



※1 原作 デ・アミーチス『クオレ』(五月) アペンニーノ山脈からアンデス山脈まで「母をたずねて三千里」をアニメ化した作品。「グリム童話」など外国の話が日本の昔話に影響を与えることもあります。計算上年数が合いませんが、昔話の原文で「父と別れて五年間、母と別れて二年間」となっています。昔のお金の単位です。1円の千分の一にあたりますが、現在の1円とは価値が違います。

シヨウ坊は「父ちゃんと別れて五年、母ちゃんと別れて二年になりました。父ちゃんはこの世にいないので会えません。よその子どもは、休みになれば父ちゃんと母ちゃんと三人で手をつないで、遊んで歩きます。私は、父ちゃんには会えなくとも、せめて母ちゃんには一目でも会いたいと思い、ここに立っておりました。」と訴えました。

おばあさんは「この山は三里四方りしほうのお山。お前はまだ子ども。とても登ることはできないでしょう。しかし、この山を登れば、お大師様のお屋敷です。」と教えてくれました。

シヨウ坊は、あんまり母に会いたがために、山でも岩でも登りました。

「お大師様をお願いして、母に会わせてもらいたい」と、三日三晩、登り続けました。岩につかまりながら、ようやく三日目の明け方に、お山の上に着きました。そして、お大師様のそばまで行って頼みました。

「母に会いたいです。どうか会わせて下さい。」

すると、お大師様は「この山を下りなさい。」と言うと、錦にしきに包んであるお守りを、シヨウ坊の背中に掛けてくれました。

それから「このお守りは、お前の身を護るお守りなので、体から離してはいけません。この山を下れば、一週間以内に母に会えるでしょう。」と告げました。

またシヨウ坊は、三日三晩かけて山を下りました。「一厘なりとも」と人様にお願ひして回り、一週間がたちました。しかしどうしたことか、母には会えません。



シヨウ坊が遠くの方を見ると、小さい家があったので、またお願いに行きました。すると、母がいるではありませんか！

戸口に立った母は、「裏口の方へ来なさい」とこっそり言いました。シヨウ坊が裏口に回ると、母はシヨウ坊の顔をよく眺め、

「お前はシヨウ坊だな」と言いました。

母がシヨウ坊の胸につかまって

泣きました。親不孝、子不幸でした。

それから二人はじいちゃんの所に帰りました。シヨウ坊がよそ様から貰ったお金

が袋にいっぱい入っておりましたので、三人は

幸福に暮らしたといえます。

※4 距離の単位。1里約4km

お大師さまって、だれ？

一般的には弘法大師（空海）のことだと信じられていますが、本来「大師」とは高僧に贈られる諡号しごうです。大師号がつくのは弘法に限ったことではありません。

神が村を訪れ富を民衆に与えてまわるといふ民間信仰と、優れた技術や知識を大陸からもたらした弘法大師。この二つのイメージが結び付いて、「大師Ⅱ弘法大師」の信仰や伝説ができたといわれており、さらに大師講といった年中行事にまで発展しています。

弘法大師は全国各地に伝説や聖地を残しており、大師講とも縁の深い「後隠し」の話、霊場として有名な四国八十八ヶ所、湧泉の由来に関わる弘法清水などたくさんあります。いろいろ巡ってみるのも楽しいですね。



出典：聖籠町『聖籠町誌』（1982）を一部改変
参考：デ・アミーチス 訳・杉浦明平（1993）『クオレ』河出書房新社
日本民話の会（1991）『ガイドブック 日本の民話』講談社

宮田登 他（1993）『日本「神話・伝説」総覧』新人物往來社

（作画）渡辺明公子

今月の短歌

※聖籠町短歌会の作品（平成二十三年三月）を紹介しします。

冬の高荒れる高波鮮やかに波打ち際に砂紋描きぬ
 立ち枯れし木は儚しと思ひきに春の陽浴びて色濃くなりぬ
 診察を終へて出でたる庭先にタクシー待つ間を日光浴す
 冴え返る今朝の青空残雪の飯豊・二王子胸に留めよ
 水鳥にまかれしえさのおこぼれを雀群がり岸辺で拾ふ
 古希過ぎしクラス会なり「老」「病」肴に酒を飲むは愉しも
 子に言ひし言葉いつしら逆転す火の元施錠を娘気遣ふ
 裏庭に積りて居たる雪の山春陽にとけてきらめきてるつ
 白菜に迷路をつくり食べ生さる何か言いたきこの根切り虫
 新燃の爆発噴煙空焦がし脅威の人の沈黙深し
 八十の坂厳しと聞きしに越えて佇ち心は安し雪晴れの朝
 塩漬けのアザミの茎の香り良く野に咲く姿しのびつつ食む
 吾こそは憂国の士と眉を上げ政論高く範を示せよ
 二泊三日の物見遊山を戻り来てお腹に旨し今朝の雑炊
 今日雨水雪解けすすむ道の辺に道祖神のごと雪かたまりり
 雪吊りの縄はづされし庭木々は背のびするがに枝を広げり
 三月は夫逝きし月我生れし月桜の便りは心と和ます
 山崩れ川氾濫し森燃える奇跡の惑星地球は唯一
 八十路すぎ十六キロを完歩して後期一步の出発点とす
 朝風の浜辺をゆけば冬鳥の旅立ちまじか声弾み飛ぶ
 雪掘りて穫りしキャベツを重ね持つきしきはしゃぐ声を立てけり
 温き陽に水の反射のゆらゆらと春のまぼろし天井に来る

秋山 美喜雄
 岩橋 俊三
 小野 ハナ
 小野 眞智子
 小林 幸
 駒田 文雄
 近藤 アキ
 近藤 トイ
 斎藤 経子
 渋谷 カツ子
 丹呉 ヤエ
 津野 ヨシ
 豊島 雪江
 平野 増江
 星尾 美枝子
 本田 ヨセ
 前澤 春
 山口 正幸
 吉田 エト
 渡辺 ルリ子
 渡辺 久仁子
 阿部 昌彦

今月の俳壇

※詠草聖籠俳壇の作品を紹介しします。

（平成二十三年四月の句会）
 眺めをる窓に水仙香りけり
 日の本は沈没の危機春の地震
 八十の身に雪降る中の比叡山
 鐘の音の有情に渡り桃開く
 桜咲き合格男女宙に舞ふ
 婚の荷を送る祝の桜餅
 葱坊主紙の帽子で子を育て
 葱ぼうず飯豊連峰はるかなり
 災害や計画停電春の月
 スカートをつまみ踊る子雛まつり
 春休み子供ら犬と戯れり
 花吹雪踏絵の心地して帰り
 物の芽や藍深めたる越後富士
 地震激し弥生の天地慄きぬ
 退院の夫を待ち居り春炬燵
 鉛筆を削ってやるのも四月かな
 孫息子入学姿たのもしき

渡辺 テツ子
 天尾 壯一郎
 篠原 キミエ
 八幡 竹村
 小林 緑風
 渡辺 ルリ子
 曾根 トク
 松木 由紀
 斎藤 鉄信
 諏訪 明子
 石澤 敏子
 宮下 悦子
 高橋 秋荷
 豊島 雪江
 長谷川 節子
 幾野 重作
 早津 れい

6月 生涯学習・スポーツイベント情報

日	曜	生涯学習施設	スポーツ施設
6/1	水		ライオンズ杯卓球大会 ⓧ太極拳、亀代あそび場、ソフトテニス教室
2	木	移動図書館車（山小）	ⓧピラティス(昼)、ヨガ(夜)、ゴルフ教室
3	金		バスケット連盟審判講習会 ⓧヨガ(昼)、ピラティス(夜)
4	土	(週末体験クラブ) 秘密基地を作ろう	ⓧできるDays、ヒップホップ教室
5	日		男女ダブルステニス大会、藤寄ビーチボール交流大会
6	月	休館日	休館日
7	火	ちいさなおはなしタイム（図書館） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧエアロビクス、藤寄あそび場
8	水	移動図書館車（蓮小）	ⓧ太極拳、亀代あそび場、ソフトテニス教室
9	木		ⓧピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)、ゴルフ教室、小学生バドミントン教室
10	金	移動図書館車（亀小）	ⓧヨガ(昼)、ピラティス(夜)
11	土	移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）	ⓧフリースポーツ、できるDays、ヒップホップ教室
12	日	さくらんぼの里 民謡の祭典（文化会館）	
13	月	休館日	休館日
14	火	ちいさなおはなしタイム（図書館） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧエアロビクス、藤寄あそび場
15	水		ⓧ太極拳、亀代あそび場、ソフトテニス教室
16	木		ⓧピラティス(昼)、町民会館あそび場、ゴルフ教室、小学生バドミントン教室
17	金	演劇「肝っ玉おっ母とその子どもたち」（文化会館）	ⓧヨガ(昼)、ピラティス(夜)
18	土	紙しばい会	ⓧできるDays、ヒップホップ教室
19	日		せいらうチェリーサッカー大会
20	月	休館日	休館日
21	火	ちいさなおはなしタイム（図書館） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧエアロビクス、藤寄あそび場
22	水	移動図書館車（蓮小）	ⓧ太極拳、亀代あそび場、ソフトテニス教室
23	木	移動図書館車（山小）	ⓧピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)、小学生バドミントン教室
24	金	移動図書館車（亀小）	ⓧヨガ(昼)、ピラティス(夜)
25	土	(週末体験クラブ) 勾玉を作ろう 移動図書館車（藤寄・東山・亀塚児童館）	ⓧフリースポーツ、ヒップホップ教室
26	日		
27	月	休館日	休館日
28	火	ぐるんぼの部屋（図書館） 夜間図書館（夜8時まで）	ⓧエアロビクス、藤寄あそび場
29	水		ⓧ太極拳、亀代あそび場、ソフトテニス教室
30	木	図書館月末整理日（休館日）	ⓧピラティス(昼)、町民会館あそび場、ヨガ(夜)、小学生バドミントン教室

※ 上記予定は、変更する場合があります。詳しくは、町民会館またはスポネットせいらうへお問い合わせください。
（問合せ先は、いずれも☎0254-27-2121までお願いいたします。） ※ⓧは、「NPO法人 スポネットせいらう」の略。

編集の窓から

窓から

発生から3ヵ月になろうとするも未だ続く連日の負の報道。地震に津波、原発、そして風評被害、この東日本大震災が与えた被災者の苦しみは計り知れない。被災された方々が将来を考え、語れる日が一刻も早く訪れることを祈りたい。

▼この夏には、日本の原子力発電所54基のうち震災を起因とした停止17基を含め、30基程度が停止の見込みとなっている。必然的に電力需要を賄い切れずに計画停電が実施されることになろう。私たち一人ひとりの節電への取り組みは勿論のこと、官庁、企業でもクールビズを上回る軽装のスイパクールビズへの取り組みや、照明、冷房温度などの工夫、取り組みも計画されている。この取り組みが一過性のものとならず、環境、エネルギー政策にも一石を投じてほしい。

▼震災避難所となっていた町民会館も4月23日から利用できるようになった。町民をはじめ、多くの方々が足を運び、スポーツで汗を流したり、文化・芸術を楽しんだり、生きる喜びを実感しているようだ。避難者の皆さんも気軽に足を運んでいただき、明日への活力につなげてほしい。

▼本号から社会教育だよりを担当することになりました。町民会館を核に活動する皆さんの生の姿・声を伝えられるよう頑張っていきたいと思います。（高橋）

1日
子ども図書館員を体験しました

町の図書館が、春のこどもの読書週間と、秋の読書週間に開催している、「1日子ども図書館員」は、2000年の「子ども読書年」を記念して開催しています。

今回、5月14日に開催された「1日子ども図書館員」は、蓮野小学校5・6年生の増田萌さん、治田梨緒さん、三浦圭織さん、泉綾花さん、竹内

萌々さん、八幡琴未さんが元気に参加してくれました。

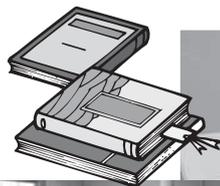
子ども図書館員は、鈴木館長から任命書を受け取り、開館時間に間に合うよう、班ごとに協力して開館の準備をしました。

利用者を迎えて、カウンター業務や書架の整理、館内のテーマ展示、紙しばいの読み聞かせなどを体験しました。どれも図書館員として欠か



カウンターの
仕事を体験!

本にラベルを
貼りつけるよ



せない仕事。パソコンを使う作業も多いのですが、初めてとは思えないくらいテキパキとこなしました。

後半は、図書館ボランティア「赤いふうせん」の紙しばい会に参加し、大勢のお客さんの前で、紙しばいの読み聞かせを体験しました。

この「1日図書館員」が、子どもたちの貴重な社会体験となり、さらに図書館をより身近なものとして感じる機会となればと考えています。

1日子ども図書館員の
感想から

○本にラベルを張る仕事はむずかしかったです。カウンターの仕事が一番楽しかったです。

(6年 増田 萌)

○図書館の仕事はすごく大変なんだと感じました。こんな仕事があると感じながらも、いっぱい本を借りたいです。

(6年 治田 梨緒)

○紙しばいの読み聞かせをしたり、手遊びをしました。とても楽しかったです。

(6年 三浦 圭織)

○最初はあいさつができなかったけど、だんだん大きな声が出てきてお客さんに喜んでもらえてよかったです。

(6年 泉 綾花)

○図書館員をして、いろいろなことを覚えました。本にラベルを張り付ける時は、失敗してしまったので、気をつけなきゃと思いました。

(5年 竹内 萌々)

○図書館でどんなふう働いているのかとてもよくわかりました。これから、もっと本を読んだり、本を大切にしたいとおもいます。

(5年 八幡 琴未)

よろしく
お願いします。



館長
鈴木 康子

5月1日付で図書館長となりました、鈴木康子です。

図書館は、赤ちゃんから高齢者の方まで、どなたでも自由に無料で利用して頂ける施設です。

町民の人たちが気軽に足を運んでいただける図書館、暮らしに役立つ町の図書館をめざしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。



係長
佐藤 伸一

5月から図書館にお世話になっております。

貸出しカウンターに立って、みなさんとお話する機会もあります。

趣味の釣り・自転車・アウトドアなど、本では知ることのできない生の情報をお伝えできるかもしれません。

どうぞ、お気軽に声をかけてください。